

大腿骨頸部骨折 観血的骨接合術 患者さんパスシート (No.1)

氏名		診療科名	整形外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/		
経過	入院日 (手術前日)		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術の物品を準備しましょう。 手術について理解しましょう。 麻酔について理解しましょう。 転倒・転落の危険性、予防方法について理解しましょう。 		
薬	<ul style="list-style-type: none"> お薬を内服されている方は、入院時にお薬手帳と一緒に7日分をお持ちください。 医師、薬剤師が確認し継続するかどうか判断します。 		
検査	<ul style="list-style-type: none"> 13時から15時の間に麻酔科の診察があります。 		
処置	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません。 		
観察	<ul style="list-style-type: none"> 骨折部位の痛みや腫れ、全身状態の観察をします。症状が悪化する場合は医師や看護師に伝えてください。 		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません。 		
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> 21時から食べられません。 24時から水分を飲みません。  		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 体拭きをします。 		
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 医師より手術の説明があります。 看護師より手術前後の処置、必要な物品、手術の流れ、腓骨神経麻痺について説明があります。(別紙1参照) 麻酔科担当医から麻酔科外来で麻酔についての説明があります。 手術に使用するバスタオル1枚、T字帯1枚をお預かり致します。 バスタオル、T字帯にはお名前を記入して頂くようお願いいたします。 パンフレット「股関節の手術を受けられる方へ」に沿ってP1~P3-③までの説明をさせていただきます。 		



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2024年3月改定

大腿骨頸部骨折 観血的骨接合術 患者さんパスシート (No.2)

氏名	
----	--

診療科名	整形外科
入院予定期間	年 月 日
	年 月 日

月日	/
経過	手術当日 (手術前)
達成目標	・手術に向かう準備をしましょう。
薬	・医師の指示で内服がある場合にはお伝えします。
検査	・特にありません。
処置	・10時以降に手術開始予定の場合は、手術室に行く前に点滴を行います。(6時~7時頃) 
観察	・手術部位の痛みや腫れ、全身状態の観察をします。症状が悪化する場合は医師や看護師に伝えてください。
排泄	・特にありません。
活動	・ベッド上安静です。
食事	・食べたり飲んだりできません。
清潔	・洗面、歯磨きは行うことができます。
説明指導	・手術室に向かう前に、浴衣に着替え、深部静脈血栓症予防のストッキングを履きます。 ・貴重品は金庫にしまうか、ご家族に預けてください。 ご家族が来院されない場合は、看護師がお預かりします。 ・外れやすい歯やぐらつく歯がある場合は、事前に看護師へお知らせください。 

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2024年3月改定

大腿骨頸部骨折 観血的骨接合術 患者さんパスシート (No.3)

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日




月日	/
経過	手術当日（手術後）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 痛みや苦痛を看護師に伝えましょう。 深部静脈血栓症を予防するための足の運動を行いましょ。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、薬は基本的に飲みません。 翌日から内服が開始になります。
治療・検査	<ul style="list-style-type: none"> 手術翌日の朝まで点滴を行います。 酸素マスクをつけます。 手術した方の腕から持続的に痛み止めを注入します。 手術終了後、レントゲン撮影と採血があります。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 深部静脈血栓症の予防のため、ストッキングは手術後も継続して履きます。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 体温、脈拍、血圧、呼吸、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足の位置（腓骨頭が圧迫されていないか）、足首の背屈運動の有無について決められた時間まで1時間毎に観察させていただきます。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 手術後は尿を排泄するための管が入っています。 排便はベッド上で行います。（看護師が支度や片付けを行います）
活動	<ul style="list-style-type: none"> ベッドで安静にしますが、90°まで体を起こすことができます。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 食事はできません。 水分は酸素マスクが外れば飲むことができます。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 顔を拭く、口の中をきれいにするお手伝いをします。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、点滴や痛み止めの管を誤って引っ張らないよう注意しましょう。 痛みが強い場合には我慢せず看護師にお伝えください。 腓骨神経麻痺予防のため、腓骨頭（膝の外側にある突起）を圧迫しないよう注意しましょう。拳上用枕から患肢が落ちた場合は看護師に伝えましょう。また、足首にしびれや違和感、動かしにくさを感じた場合は、すぐに看護師に伝えましょう。 血栓予防のため足首の運動をしましょう。 手術後は痛みなどの症状に対し、お薬を使用しますので遠慮なくお伝えください。 

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2024年3月改定

大腿骨頸部骨折 観血的骨接合術 患者さんパスシート (No.4)

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

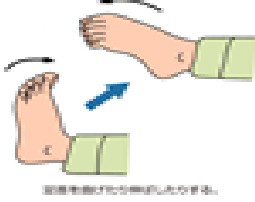
月日	/		/	
経過	術後 1 日目		術後 2 日目	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> リハビリを看護師と一緒に始めましょう。 転倒に注意しましょう。 痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> 病室・リハビリ室でのリハビリを行いましょう。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 食事が開始となると、元々内服していた薬が再開となります。 痛み止めの内服薬が処方されます。内服は痛みの状態に合わせて内服します。 術後 1 日目から血栓予防の薬が2週間分処方されます。 			
薬	<ul style="list-style-type: none"> 食事が開始となると、元々内服していた薬が再開となります。 痛み止めの内服薬が処方されます。内服は痛みの状態に合わせて内服します。 術後 1 日目から血栓予防の薬が2週間分処方されます。 			
治療・検査	<ul style="list-style-type: none"> 朝、看護師が採血に伺います。 食事がしっかり摂取できたら抗生物質の点滴のみになります。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴終了後の夜に点滴の針を抜きます。 		
処置	<ul style="list-style-type: none"> 医師が傷の消毒を行います。 			
観察	<ul style="list-style-type: none"> 血圧、脈拍、体温、呼吸、傷の状態（出血の有無、痛みの程度）、足の位置（腓骨頭が圧迫されていないか）、足首の背屈運動の有無などについて観察します。 			
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 尿の管を抜いて、車椅子でトイレに行きます。 			
活動	<ul style="list-style-type: none"> 車いす移動を開始します。手術した足に体重はかけません。 移動が安定するまでは看護師が付き添います。 リハビリ室でのリハビリが開始します。 リハビリの時間以外に、看護師と病棟でリハビリを行います。 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> 朝より手術前と同じ食事が始まります。 			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> タオルで体を拭くお手伝いをします。 			
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 痛み止めの内服方法について説明します。 今後のリハビリ、手術した足の安静度についてパンフレット「股関節の手術を受けられる方へ」に沿って、看護師が説明します。(P11~P12) 			

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2024年3月改定

大腿骨頸部骨折 観血的骨接合術 患者さんパスシート (No.5)

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

月日	/ ~ /	/ ~ /
経過	術後3~7日目	術後8~14日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・病室・リハビリ室でのリハビリを行いましょう。 ・転倒に注意しましょう。 ・手術した足は体重をかけないようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病室・リハビリ室でのリハビリを行いましょう。 ・転倒に注意しましょう。 ・手術した足に体重を50%かけて四点歩行器歩行しましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 	
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・飲んでいただく薬の説明をします。 	
治療・検査	<ul style="list-style-type: none"> ・術後3、7、14日目の朝に看護師が採血に伺います。 ・レントゲン撮影は手術後の経過に応じて行います。 	
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・傷の状態に応じて、必要時消毒を行います。 ・術後14日目に創部の状態をみて抜糸を行います。 	
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧、脈拍、体温、呼吸、傷の状態（出血の有無、痛みの程度）、足の位置（腓骨頭が圧迫されていないか）、足首の背屈運動の有無などについて観察します。 	
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・術後7日目までは手術した足に体重はかけられません。 ・「股関節の手術を受けられる方へ」P11参照 	<ul style="list-style-type: none"> ・術後8日目から体重の50%を足にかけることができます。 ・8日目からは四点歩行器で歩行訓練を行います。 ・「股関節の手術を受けられる方へ」P11参照
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・体拭きをします。 	
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みに合わせて、歩行練習を行いましょう。 ・ベッドの上でも、筋力低下を防ぐために、足の運動を行いましょう。 ・術後14日目のレントゲン結果に応じて、転院や退院の方針を医師や理学療法士と検討しましょう。 	 <p>足関節を動かして筋力をつける。</p>

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2024年3月改定

大腿骨頸部骨折 観血的骨接合術 患者さんパスシート (No.6)

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

月日	/ ~ /
経過	術後 15 日目～20 日目 (退院日)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活をイメージしてみましょう。 手術した足に体重を100%かけてT字杖歩行しましょう。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 飲んでいただく薬の説明をします。
治療・検査	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に採血、レントゲンを行います。
処置	<ul style="list-style-type: none"> シャワー時に創部も優しく洗いましょう。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 血圧、脈拍、体温、呼吸、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足の位置(腓骨頭が圧迫されていないか)、足首の背屈運動の有無などについて観察します。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 15 日目からT字杖を使用して歩行訓練を行います。 杖を使用し、屋内での歩行、階段歩行の練習を行います。 パンフレット「股関節の手術を受けられる方へ」のP12参照
食事	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 抜糸後、医師の許可がでるとシャワー浴が可能となります。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の外来診察日について説明します。 保険などの書類は退院日に本館1階Aブロックの受付窓口に提出してください。(受付窓口は平日、土曜日のみ利用可能です。) 看護師より退院後の生活の注意点を説明させていただきます。 <p>パンフレット「股関節の手術を受けられる方へ」のP12～P13までの説明をさせていただきます。</p>



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2024年4月改定

整形外科で手術を受ける患者さんへ

術後に足が動かせない状態で、腓骨頭(足の外側の出っ張った骨の部分)が圧迫されると足がしびれて動かなくなり、麻痺が起こる可能性があります。以下の症状が出現した場合はすぐに看護師にお知らせください。

①今までしびれがなかったのに足がしびれる。

②足首や足の指が自分の力で上下に動かせなくなる。

- ・術後は膝が天井を向いているようにしましょう。
- ・装具や枕、外転枕のバンドが腓骨頭に当たらないようにし、圧迫されている場合は看護師にお知らせください。

